



匠瑛メガソーラーシェアリング第一発電所を視察。太陽光パネルの下で耕作を行う環境配慮型、市民参加型で、広大なひまわり畑も隣接。



大網白里市の農地に設置された太陽光パネルを視察。



猛暑の夏、エアコンのない県立松戸南高校の教室でファンまわる扇風機。県教委に設置を要求。

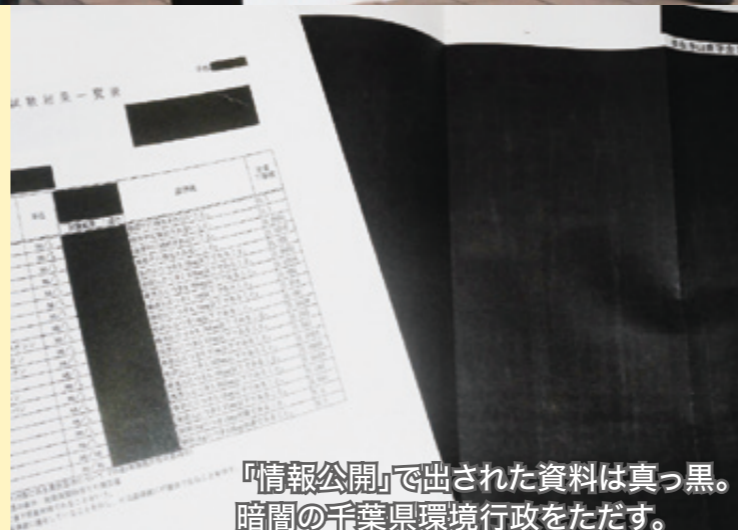


松戸駅で、ちば派遣村「労働・生活なんでも相談会」。浅野ふみ子さんと共に。



増設は待たなし、松戸市内の特別養護老人ホームの入浴施設を視察。

みなさんの 願い実現へ



「情報公開」で出された資料は真っ黒。暗闇の千葉県環境行政をたどる。



2月定例議会で予算質疑に立つ、みわ由美県議。



千葉県議会議員(松戸市)
みわ由美
よしみ

みわ由美です。改ざん、隠ぺい、ねつ造など、ウソごまかしの「安倍政権もう退陣を!」の声が広がっています。市民と野党の共闘を上げ、新しい政治をめざします。

3年前、共産党県議の議席を復活させて頂き、いま4期目。あふれる願い実現へ走ります。貧困と格差拡大ひろげる安倍政権。こんな時だからこそ地方政治、議員の役割が問われます。

「高すぎて国民健康保険料が払えない」「年金だけでは生活できない」「難病支援が切れ、涙」「新一年生、学童保育がイッパイで不安」など、切実な声ばかり。いのち、暮らし、人権を守れと、がんばります。

■プロフィール

- 1955年京都府生まれ。●立命館大学産業社会学部卒。●大阪上新電機、京都西陣川佐など勤務。●日本共産党松戸市議団事務局員を歴任。
- 1999年千葉県議会議員選挙(松戸市)で初当選。現在、県議4期目、環境生活警察常任委員、党千葉県委員。●八ヶ崎在住。

(事務所)

270-2252 松戸市千駄堀 1810-2
電話 047(349)1544
http://www.miwa-3838.jp/

日本共産党

国保

所得150万円(4人家族)で31万円
国・県の支援で引き下げを

4月から国保の新制度(県広域化)が始まりました。県が示した標準保険料率によれば、ある市では所得250万円(40代夫婦と子ども2人)で年間保険料が45万5000円、同じく所得150万円(31万1000円もの負担となります。所得50万円の70歳夫婦2人世帯でも8万6000円の保険料です。こんなに高い保険料は払いきれません。

いまでも県内の保険料滞納世帯は2割近く、15万世帯(2017年6月)を超えています。高齢化が進むなかで所得は減り医療費は増える、という構造的な矛盾を解消し、誰もが「払える保険料」にするためには、国の財政負担の抜本的拡充や県の支援が不可欠です。

教育
11億円1.5倍に増額

老朽化した県立高校の建物改修費

外壁にたくさんの亀裂、雨漏り、トイレの排水不良、体育館床の歪み、ささくれで部活中の生徒がケガ、外階段や非常階段、渡り廊下が錆びて倒壊の恐れなど、県立高校の老朽化が放置されています。先生の訴えや現場の写真を示して早急な対策を求めてきましたが、2018年度、約11億円の予算がつけました。昨年度より3億6000万円増(1.5倍)、2015年度(5億4000万円)の2倍に増やすことができました。しかし、2000件を超える学校からの要望の1割から2割程度しか修繕できず、まだまだ足りません。引き続き増額を求めます。



- 住みよい松戸市めざして
みわ由美県議といっしょにがんばります
- しいば寿幸 (党千葉県副委員長)
- 浅野ふみ子 (党千葉県副委員長)
- 高橋たえ子 (市議会議員)
- うつの史行 (市議会議員)
- 高木健 (市議会議員)
- 山口正子 (市議会議員)
- 平田きよみ (市議会議員)
- 浦野真 (党松戸市なんでも相談室長)
- ミール計恵 (党松戸市生活・法律相談室長)